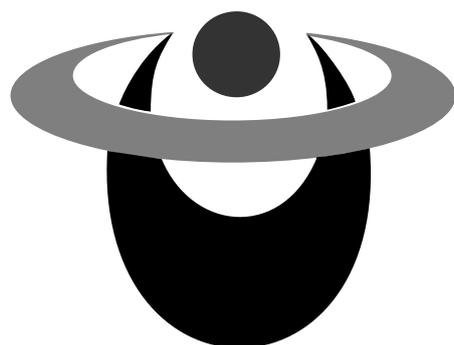


# 教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価結果報告書

(平成29年度分)



時と水ゆったり流れる

## 平川市

平成30年12月

平川市教育委員会

## はじめに

平川市教育委員会は、「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現に向けて、未来を切り拓く子どもたちの育成、生涯にわたるスポーツライフの推進、知識と経験があふれる生涯学習の推進、感性をはぐくむ芸術文化の振興に努め、「郷土への愛着と誇りを持ち、健やかで、こころ豊かなひとづくり」を目指した教育を推進しています。

平成29年度は第2次平川市長期総合プランの初年度であり、魅力あるひとづくりの実現に向け、健やかなひとづくりとこころ豊かなひとづくりの基本政策に向け、教育施策の推進に努めているところです。

本報告書の作成にあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、より一層点検及び評価の客観性を確保するため、各分野に精通した学識経験者の意見を求め、取りまとめたものであります。これを議会へ提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、今後の教育施策のさらなる充実につながるものと考えております。

市民の皆様には、この報告書をご覧いただき、本市の教育に対する取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。今後も市民の皆様にご信頼される教育行政を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年12月

平川市教育委員会

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

1. 平成29年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員構成	1
(2) 教育委員会会議状況	2
(3) 総合教育会議状況	4
(4) その他の活動状況	4
2. 教育委員会における事務の点検・評価	
(1) 自己点検・評価の実施状況	6
(2) 具体的な点検・評価の方法	6
3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
(1) シート1	
教育委員会が管理及び執行する事務	7
(2) シート2	
教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する事務	8
(3) 事務事業評価表	9～33

## 1. 平成29年度教育委員会の活動状況

期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

### (1) 教育委員構成

#### 平成30年2月25日まで

職名	氏名	任期	備考
委員長	内山浩子	H28.2.25～H32.2.24（3期）	
委員	工藤甚三	H27.3.8～H31.3.7（2期）	委員長職務代理者
委員	佐々木幸子	H29.3.6～H33.3.5（3期）	
委員	葛西万博	H26.2.26～H30.2.25（1期）	
委員	駒井優子	H29.6.11～H33.6.10（2期）	
教育長	柴田正人	H26.2.26～H30.2.25（1期）	

これまで教育委員会には、教育行政の事務を行う事務局の責任者である教育長と教育委員の代表者である教育委員長の二つの役職があり、それぞれ教育委員として市長から任命され、その後、教育委員会で委員の中からそれぞれを選挙してきました。

しかしながら、教育行政における責任体制の明確化など、教育委員会改革として「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成27年4月に改正され、教育長と教育委員長の仕事を一本化した、新教育長制度へ移行することになりました。

この法には経過措置があり、教育長が新たに市長より任命された平成30年2月26日より、新教育長制度へ移行となりました。

#### 平成30年2月26日から

職名	氏名	任期	備考
教育長	柴田正人	H30.2.26～H33.2.25（2期）	
委員	内山浩子	H28.2.25～H32.2.24（3期）	教育長職務代理者
委員	佐々木幸子	H29.3.6～H33.3.5（3期）	
委員	工藤甚三	H27.3.8～H31.3.7（2期）	
委員	葛西万博	H30.2.26～H34.2.25（2期）	
委員	駒井優子	H29.6.11～H33.6.10（2期）	

## (2) 教育委員会会議状況

毎月開催の定例会を原則第4火曜日の計12回開催しました。また、平成30年2月には、新教育長制度移行に伴い臨時委員会を開催しました。

議案及び資料については、平川市教育委員会の事務の委任等に関する規則に則し、案件の整理を行い、議案様式を統一するなど会議運営について工夫しました。また、審議が長時間にわたる場合は継続審議とし、より慎重な審議としました。

会議終了後は、教育委員会の透明性・公平性を図る観点から、毎月開催の定例教育委員会及び臨時会の会議録を市ホームページで公開しました。

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第4回 定例会	4月25日 9:00~	報告第17号 報告第18号 議案第19号	平川市教育支援委員会委員の委嘱について 平川市社会教育委員の委嘱について 平成29年度奨学金新規貸与者の決定について	可決 可決 可決
第5回 定例会	5月23日 9:00~	報告第20号 議案第21号	平成30年度使用小・中学校用教科用図書採択について 平川市学校給食センター運営委員の委嘱について	可決 可決
第6回 定例会	6月27日 13:30~	報告第4号 報告第5号 報告第6号 報告第7号 報告第8号 報告第9号 報告	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて 工事請負契約の一部変更について 工事の請負契約について 平成29年度教育費6月補正予算について 放棄した私債権の報告について 教育財産の取得について 「事務事業評価」今年度からの変更点について	報告 報告 報告 報告 報告
第7回 定例会	7月25日 13:30~	議案第22号 報告	平成30年度使用小学校用道徳教科用図書採択について 点検評価アドバイザー選任について	可決
第8回 定例会	8月22日 9:00~	議案第23号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告書	継続 審議
第9回 定例会	9月26日 9:00~	報告第10号 報告第11号 報告第12号 議案第23号	工事の請負契約について 平成29年度教育費9月補正予算について 平成29年度学校給食センター費9月補正予算について 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告書	報告 報告 報告 継続 審議
第10回 定例会	10月24日 9:00~	議案第24号 議案第23号	平川市運動施設条例施行規則の一部を改正する規則案 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告書	可決 継続 審議
第11回 定例会	11月28日 13:30~	議案第23号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告書	可決

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第12回 定例会	12月19日 13:30~	報告第13号	平川市平賀屋内温水プールの指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	報告
		報告第14号	平川市平賀体育館の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	報告
		報告第15号	平川市B&G尾上体育館、尾上武道館、尾上野球場、尾上テニスコート、尾上体育館及び尾上多目的広場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	報告
		報告第16号	平成29年度教育費12月補正予算について	報告
		報告第17号	平成29年度学校給食センター費12月補正予算について	報告
		議案第25号	平成29年度平川市教育委員会被表彰者の決定について	可決
第1回 定例会	1月23日 13:30~	報告第1号	平成29年度平川市教育委員会被表彰者追加の専決について	報告
		議案第1号	平川市教育委員会委員長の選挙について	選挙
第2回 定例会	2月20日 15:00~	議案第2号 報 告	県費負担職員の人事異動について 新教育長就任後の委員会について	可決
第1回 臨時会	2月27日 13:30~		委員の席次について 教育長職務代理者の指名について	指定 指名
		報告第2号	臨時代理の報告について	報告
		議案第3号 報 告	学校教育指導の方針と重点(案)について 平成29年度市内小中学校卒業式告辞について	可決
第3回 定例会	3月27日 13:30~	報告第3号	平成29年度教育費3月補正予算について	報告
		報告第4号	平成29年度学校給食センター費3月補正予算について	報告
		議案第4号	平川市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決
		議案第5号	平川市郷土資料館運営協議会委員の委嘱について	可決
		議案第6号	平成30年度平川市社会教育行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第7号	平成30年度平川市保健体育行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第8号	平成30年度平川市運動施設運営の方針と重点(案)について	可決
議案第9号	平成30年度平川市学校給食センター運営の方針と重点(案)について	可決		
		議案第10号	平川市社会教育基本計画(案)について	継続 審議

### (3) 総合教育会議状況

各案件について市長と教育委員会との協議及び調整がされ、連携が図られました。

開催日時	場 所	議事番号等	内 容
3月23日 9:00~	市役所 本庁 応接室	議事(1) 議事(2)	平川市通級指導教室について コミュニティスクールについて

### (4) その他の活動状況

#### ① 市議会定例会等への出席

本会議、一般質問、常任委員会、臨時会等に出席し、必要に応じて教育行政に関する答弁を行いました。

#### ② 学校訪問

学校運営の実態把握を目的として、小学校9校、中学校4校の学校訪問を年2回（前期・後期）実施し、学校経営方針を中心に校長、教頭及び教務主任と意見交換を行い、さらには委員会において総括を行うことで、委員間の共通理解を図りました。

また、各中学校区内の共通した学校課題に対し、意見交換を通して、小・中連携強化を図りました。

#### 前期

訪問日	訪問校等
5月12日	平賀東中学校、碓ヶ関中学校、碓ヶ関小学校
5月15日	平賀西中学校、竹館小学校
5月16日	柏木小学校、大坊小学校、松崎小学校、金田小学校
5月18日	小和森小学校、平賀東小学校
5月19日	猿賀小学校、尾上中学校

#### 後期

訪問日	訪問校等
11月13日	碓ヶ関小学校、碓ヶ関中学校、平賀西中学校
11月14日	尾上中学校、金田小学校、小和森小学校
11月15日	松崎小学校、大坊小学校、柏木小学校、各運動施設※1
11月16日	平賀東小学校、平賀東中学校
11月17日	猿賀小学校、竹館小学校

※1 文化センター、学校給食センター

③ 所管施設訪問

文化センター及び平賀学校給食センターを訪問し、各施設の整備状況及び整備計画等について確認しました。

④ その他行事・協議会等への出席

入学式・卒業式・成人式・表彰式等の式典及び小学校陸上競技大会をはじめ学校の諸行事に積極的に参加し、子どもたちの教育活動の状況把握に努めました。

また、教育委員を対象とした会議、県及び東北ブロック等の研修会に参加し、委員としての幅広い識見を養い、本市の教育行政の資質向上に努めました。

## 2. 教育委員会における事務の点検・評価

### (1) 自己点検・評価の実施状況

#### ① 点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行いました。

#### ② 学識経験を有する者の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項に基づき、学識経験を有する方の知見を活用するため、平成30年7月19日に「点検評価アドバイザー会議」を開催し、「点検評価アドバイザー」から実施状況や評価等について意見をいただき、これを参考に報告書の作成を行いました。

※ 平成30年度点検評価アドバイザー

村上 薫 氏〔元平川市立平賀東中学校校長〕

浅原 晴志 氏〔元田舎館村立田舎館小学校校長〕

樋口 正博 氏〔NPO法人平川市スポーツ協会監事〕

### (2) 具体的な点検・評価の方法

三つの事項に分類し、次の方法で点検・評価を行いました。

① 平成29年度教育委員会の活動状況について、活動内容を踏まえて点検を行いました。

#### ② シート1

教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）について、事務の進捗状況や、会議の審議状況を踏まえて点検を行いました。

#### ③ シート2

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務事業について、事業実施、成果等を踏まえAからDの評価を行いました。

評価の基準

達成度	評価内容
A	達成している（100%）
B	ほぼ達成している（80%以上）
C	おおむね達成している（60%以上）
D	達成していない（59%以下）

### 3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価

(シート1)

#### 1 教育委員会が管理及び執行する事務

項目	点検
(1) 教育行政の基本方針を決定すること	教育行政の運営に関する一般方針については、年度末に教育委員会で各課の方針と重点を定め、「平川市の教育」の中で平川市教育委員会主要施策として公表している。各課では、方針に基づいて、教育行政の運営に努めた。
(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等について、点検評価アドバイザーの意見を参考に点検・評価を実施し、教育委員会で承認を受け、議会に提出した。また、市ホームページに掲載し周知した。
(3) 学校、公民館、図書館その他の教育機関の設置及び廃止を決定し、並びにその敷地を選定すること	当該事例なし
(4) 1件の予定価格が500万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること	教育委員会関係の財産の取得について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(5) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること	学校管理運営規則及び学校職員服務等に関する規程に基づき、服務規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会において、定期的に服務規律のマニュアルを提示し、具体的に指導し、交通違反、交通事故、体罰等の防止に努めた。 また、校長の任免について、教育委員会に諮った。
(6) 教育長、事務局長、課長、館長、施設長及び所長の任免その他の人事に関すること	当該事例なし
(7) 教育委員会規則を制定し、又は改廃すること	教育委員会規則の制定等については、定例の教育委員会に諮り、委員の意見を聞きながら、慎重かつ的確に審議した。
(8) 教育予算その他市議会の議決を経るべき議案について市長に意見を申し出ること	教育委員会関係の条例制定や一部改正、予算、工事の請負契約等について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(9) 法令に定める附属機関の委員の任免、委嘱又は解職に関すること	各課で委嘱している各種委員の任命及び委嘱について、その法令で規定されているものを教育委員会に諮り、意見を求め、採決した。
(10) 学齢児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	当該事例なし
(11) 教科用図書を採択すること	平成30年度小学校及び中学校において使用する教科用図書について教育委員会に諮り、採決した。

## (シート2)

## 2 教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する事務

基本目標	基本政策	個別目標	具体的事務事業	評価	No	担当課
魅力あるひとづくり	健やかなひとづくり	未来を切り拓く子どもたちの育成	就学援助	A	1	学校教育課
			学校図書整備	B	2	〃
			学校教育振興会	A	3	〃
			児童・生徒用パソコン整備	A	4	〃
			小学校・中学校施設維持管理	B	5	〃
			学校給食センター運営	B	6	学校給食センター
			平川市教職員研修	B	7	指導課
			平川市子ども議会	A	8	〃
			学力向上対策（学習支援員配置）	B	9	〃
			指導主事による学校訪問	B	10	〃
			いじめ防止対策	B	11	〃
			放課後子ども教室	B	12	生涯学習課
	生涯にわたるスポーツライフの推進	軽スポーツ巡回教室	B	13	保健体育課	
		平川市スポーツ派遣	A	14	〃	
		トップアスリート	A	15	〃	
		平川市スポーツデー	B	16	〃	
		B&G尾上体育館改修工事	A	17	平川市運動施設	
	こころ豊かなひとづくり	知識と経験が あふれる生涯 学習の推進	未来の担い手発掘・育成・支援	B	18	生涯学習課
			平成の寺子屋	B	19	平賀公民館
			文化センター改修工事	A	20	文化ホール
			定例おはなし会	B	21	平川市図書館
			平川の子どもたちが選ぶおすすめ本	A	22	〃
		感性をはぐくむ芸術文化の 振興	公共ホール音楽活性化	A	23	文化ホール
			文化財保護	B	24	生涯学習課
			郷土資料館	B	25	郷土資料館

# 事務事業評価表

事業 No. 1

事務事業名	就学援助	担当課	学校教育課
-------	------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	<p>学校教育法第19条※に基づき、経済的理由により就学が困難である小・中学生の保護者に対し、教育費の一部を援助する。</p> <p>※学校教育法第19条・・・経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。</p>	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

各小・中学校において就学時健診時、市ホームページを通じて事業を周知し、保護者より随時申請を受け付ける。

申請があった世帯の市民税課税状況等を調査し、規定基準を満たす保護者に援助を決定する。

### 【実績】

就学援助認定となった小・中学生の保護者に対し、給食費、学用品購入費、修学旅行費、校外活動費、体育実技用具費、医療費を援助した。

平成29年度より、中学校入学前の就学援助対象者へ新入学学用品費の入学前支給※を実施した。

小学校 対象者 : 142名		中学校 対象者 : 108名	
支給総額	9,744,826円	支給総額	11,899,950円
新入学学用品費	286,580円	新入学学用品費（中1）	659,400円
学用品費等	1,686,802円	学用品費等	2,245,425円
修学旅行費	931,006円	修学旅行費	3,335,698円
校外活動費	224,716円	校外活動費	94,637円
給食費	6,345,820円	給食費	4,704,560円
医療費	5,460円	医療費	7,030円
体育実技用具費	264,442円	入学前支給学用品費（小6）※	853,200円

【事業費】 事業費総額 21,645千円（うち国・県補助 395千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>当市における義務教育の均等化・円滑化の実施に資する事業であり、援助を必要とする保護者に対して、基準に基づき公平・公正に援助を実施した。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 2

事務事業名	学校図書整備	担当課	学校教育課
-------	--------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	未来を切り拓いていく児童・生徒をはぐくむため、読書より得られる集中力、想像力、判断力の構築、しいては読書はこころの栄養との考えから、文部科学省が定めた「学校図書館図書標準」を基に、学校図書の充実に向けた整備を行う。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

文部科学省が学校規模に応じて定めた「学校図書館図書標準」を基に、予算の範囲内において、学校図書充足率が不足している学校に重点的に整備する。

### 【実績】

実績額合計 : 小学校 1,341,138円 中学校 2,383,851円  
 学校図書標準充足率 : 小学校 89.7% (前年87%) 中学校 69.3% (前年65%)  
 全学校 82.9% (前年80%)

中学校においては1校あたり10万円の指定寄附があり、充足率の向上につながった。

小学校名	実績額	充足率	中学校名	実績額	充足率
金田	249,933円	84.3%	尾上	787,297円	63.4%
猿賀	95,877円	98.4%	平賀西	731,605円	68.1%
柏木	122,955円	97.3%	平賀東	524,448円	74.9%
大坊	222,000円	67.4%	碓ヶ関	340,501円	73.3%
小和森	123,908円	102.2%			
松崎	136,858円	71.6%			
竹館	88,698円	110.7%			
平賀東	183,924円	89.8%			
碓ヶ関	116,985円	75.7%			

【事業費】 事業費総額 3,725千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	次代を担う児童・生徒のため、限りある予算の中で学校図書館図書標準に即した整備がなされたが、今後も均等で隔たりがない学校図書の充実に向け、充足率が低い学校には継続的な整備が必要である。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 3

事務事業名	学校教育振興会	担当課	学校教育課
-------	---------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	「平川市学校教育振興会補助金交付要綱」に基づき、小・中学校間の連携強化に関わる事業や部活動等の大会出場に係る費用の支援を行い、平川市の小・中学校における学校教育・スポーツ・文化芸術の振興を図る。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童・生徒作品展等の連携事業、または各学校の部活動等の大会出場に係る経費に対して、交付要綱に基づき、関係機関と随時協議の上、補助金を交付する。

### 【実績】

事業名		実績額	備考
①部活動等の大会派遣費		※① 9,805,600円	※② 延べ63大会
②連携事業費	小学校陸上競技大会運営費	480,000円	
	学校音楽発表会運営費	528,008円	
	文集ひらかわ	400,000円	
	学校保健会	85,000円	
	児童・生徒作品展	47,000円	
計		11,345,608円	

※① …… 当初予算に不足が生じたため200万円を追加した。

※② …… 学校別かつ競技別 延べ児童・生徒数：596人 延べ引率者数：86人

【事業費】 事業費総額 11,346千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童・生徒作品展については、学校教育等の振興が図られた。また、部活動の大会派遣費については、各校とも活躍が目覚ましく、派遣費を増額し全国大会出場を支援した。補助金は随時協議等を交えながら要綱に則して適正に処理され、目的は十分に達成された。
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 4

事務事業名	児童・生徒用パソコン整備	担当課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	<p>学校のICT※教育環境整備の一環として、老朽化している児童・生徒が授業で使用するためのパソコンを更新し、セキュリティ対策の強化を図ることで、次代を担う子どもたちの情報・知識の交流に資する。</p> <p>※ICT … 電子機器や通信機器を使って情報・知識の交流をすること。</p>	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b> 各学校の児童・生徒用パソコン及びソフトウェア、各種周辺機器をリースにより更新する。</p> <p>(各種周辺機器) サーバー、教師用パソコン、プリンター、ネットワーク関連機器、ソフトウェア関連</p> <p><b>【実績】</b> 契約種別 : リース (期間5年)                  配備台数 : 小学校 146台 (各校の最大学級人数÷2 2人に1台)                            : 中学校 127台 (各校の最大学級人数 1人に1台)</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 67,690千円 (うち国・県補助 0千円)</p>
--

## 3. 評価

<h1>A</h1>	<p>児童・生徒用の老朽化したパソコンを更新したことにより、最新の機器・ソフトを利用したICT教育に資するとともに、セキュリティ対策の強化が図られたことにより、安全安心に子どもたちの情報活用能力の育成が図られた。</p>
------------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 5

事務事業名	小学校・中学校施設維持管理	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	学校運営に支障をきたさないよう、学校施設の不具合が生じた箇所を工事・修繕し、安全安心な教育環境の維持管理に努める。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

電気設備や消防設備、遊具などについては定期的に保守管理を行い、状況把握に努めている。  
また、学校施設や備品の破損等については、速やかに状況を確認し、緊急度、優先順位の高いものから工事・修繕を実施する。

### 【実績】

#### ①小学校の主な工事・修繕

碓ヶ関小学校床修繕工事	2,419,200円
竹館小学校床研磨塗装工事	2,127,600円
小和森・碓ヶ関小学校高圧電気設備更新工事	2,084,400円
小学校総合計	16,250,591円

#### ②中学校の主な工事・修繕

平賀東中学校LED取替工事	4,633,200円
碓ヶ関中学校受変電設備更新工事	2,116,800円
碓ヶ関中学校トイレ改修工事	1,047,600円
中学校総合計	11,486,233円

【事業費】 事業費総額 27,737千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>学校施設や備品の修繕等を実施しているが、経年による老朽化により維持管理経費は増加傾向にある。</p> <p>小学校・中学校施設維持管理については、緊急度、優先順位が高いものから対応することとしており、安全・安心な教育環境の維持管理に努めている。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 6

事務事業名	学校給食センター運営	担当課	平賀学校給食センター
-------	------------	-----	------------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	主要施策	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	ぬくもりのある学校給食を提供するため、衛生管理の徹底と配送などが円滑に行えるよう管理運営体制の充実を図る。 第2次平川市食育推進計画に掲げられた、学校給食における地元農産物利用率の目標達成を目指し、ぬくもりのある安全でおいしい給食を提供する。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b>                  栄養士等による調理員に対する衛生講習会及び衛生管理指導を実施し、調理器具等の洗浄消毒を徹底させる。                  地元農産物利用率目標達成のため、関係機関と連携し運搬方法・保管場所確保等の問題解消に努め、利用の促進を図りながら、子どもたちに喜ばれる魅力的な給食献立の創意工夫に努める。</p> <p><b>【実績】</b>                  衛生管理の徹底・調理員の意識向上により、食中毒防止が図られ、効率的な業務に取り組み、給食を定時に提供できた。</p> <p>①基本食数</p> <table border="1"> <tr> <td>平賀学校給食センター</td> <td>1,676 食/日</td> </tr> <tr> <td>尾上学校給食センター</td> <td>746 食/日</td> </tr> </table> <p>②市内農産物利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用率</td> <td>15.1%</td> <td>15.0%</td> <td>15.3%</td> <td>16.8%</td> <td>18.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 273,667千円（うち国・県補助 0千円）</p>						平賀学校給食センター	1,676 食/日	尾上学校給食センター	746 食/日	年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	利用率	15.1%	15.0%	15.3%	16.8%	18.1%
平賀学校給食センター	1,676 食/日																				
尾上学校給食センター	746 食/日																				
年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																
利用率	15.1%	15.0%	15.3%	16.8%	18.1%																

## 3. 評価

<b>B</b>	衛生管理等の徹底を図ることにより、ノロウイルス感染症及び食中毒等の発生を予防でき、安全安心な給食を各小・中学校へ遅延なく配送することができた。 ふるさとの基幹産業である農業を通じて食の大切さを学び、生産者の思いに感謝する気持ちを育むため、積極的に市内産農産物利用に努め18.1%まで伸びた。 20%の目標利用率達成のため、さらなる生産者との連携強化が必要である。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 7

事務事業名	平川市教職員研修	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	教員としての専門性を高め、資質の向上を図ることにより、授業を核にした生き生きとした学級づくりの推進に資するとともに、学校運営への参画意欲を高め、平川市の学校教育の活性化を目指す。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

市内の小・中学校教職員を対象とした研修会、講座を実施する。

### 【実績】

管理職として期待される教員には、その自覚と学校運営に参画する意欲を高めることができた。また、学級担任等には、学級経営に対する明確な視点を与えられたことにより、教科指導や生徒指導の資質向上に寄与できた。

講座名	実施年月日	参加者	備考
平川市小・中学校教職員全員研修講座	平成29年 7月24日	229名	教師力向上講座の参加対象者は各校1名以上
平川市夏季研修講座	平成29年 8月 4日	59名	
平川市教師力向上講座1	平成29年 6月12日	15名	
平川市教師力向上講座2	平成29年 8月 9日	30名	

【事業費】 事業費総額 19千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	特別支援教育や小学校の外国語科など、喫緊の教育課題に即した講座を開催し、講義や演習を通して市内教員の資質向上に寄与できた。さらに、教員一人ひとりの課題意識を高め、専門的知識や技能を習得させ、実践的指導力の向上を図る必要がある。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 8

事務事業名	平川市子ども議会	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	市議会議場において、市内小学生の代表が議員及び市理事者として議会を疑似体験することを通して、行政や市議会の仕組みについて学び、平川市の「まちづくり」に関心を深める機会とする。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b> 各校2人ずつ18人の子どもたちが、議会制民主主義の仕組みについて学ぶとともに、平川市が抱える課題について考え、話し合いを通して自分たちでその解決策をまとめる。 実際に行われる市議会と同じように、市議会議場において、子ども議会議員による質問と答弁及び子ども議会決議を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 小学生の代表者が、議員及び市長の立場になって質問と答弁を考えることで、平川市を見つめ直すとともに、将来の「まちづくり」について考えさせることができた。 子ども議会において、議員及び市理事者として意見や提案、答弁を行い、市議会の仕組みを理解させることができた。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 10千円（うち国・県補助 0千円）</p>
---

## 3. 評価

<b>A</b>	子ども議会を通して議会制民主主義の仕組みを学び、ふるさと平川市に思いを寄せ、将来のまちづくりへの関心を深めさせるとともに、郷土を愛し、その発展に努めようとする心や態度を育むことができた。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 9

事務事業名	学力向上対策（学習支援員配置）	担当課	指導課
-------	-----------------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	市内全小・中学校に学習支援員を配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指す。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

学習支援員19名を、すべての小・中学校に1から2名配置し、授業における個別支援に努めるほか、中学校においては長期休業中の学習支援を行う。

適切な支援の在り方について研さんを積むため、学習支援員研修会を年2回開催する。

### 【実績】

小学校9校では各校の実態に合わせて、学力向上重点学年や教科（主に算数）に応じて配置し、学級担任との連携のもと支援を行った。

中学校4校では、主に数学、英語を中心として教科に応じた配置を行い、学習理解の程度に合わせた個別支援を行った。

支援員19名（小学校12名、中学校7名）	
賃金（時給1,200円）	16,316,400円
通勤手当（対象17名）	1,350,400円
総支給額	17,666,800円

【事業費】 事業費総額 17,667千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>子どもたちの考えを深めるために発言を促したり、気づいていない視点を示したりするなど、児童・生徒一人ひとりの実態を把握し、学習意欲を引き出しながら、学ぶ楽しさを実感させていた。</p> <p>学級担任等との連携を充実させるとともに、よりきめ細かな支援を行えるよう、研修の充実を図る必要がある。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 10

事務事業名	<b>指導主事による学校訪問</b>	担当課	指導課
-------	--------------------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	指導主事が直接学校を訪問し、学校運営等に関わる現状把握と諸問題解決について指導・助言を行う。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

計画訪問、要請訪問（学校からの要請）、生徒指導訪問（長期休業中及び長期休業明けの訪問、随時訪問）を実施する。

### 【実績】

#### ①計画訪問

各校の教育課題への取組状況を把握するとともに、授業への具体的な指導・助言をし、授業力向上に寄与できた。

#### ②要請訪問

授業実践に対する具体的な指導・助言を通して、教員の研修意欲を高めることができた。

#### ③生徒指導訪問

計画訪問、随時訪問を通して、児童・生徒の状況を把握し、問題行動等の未然防止、事案対処に資することができた。長期休業中及び長期休業明けに市内全小・中学校を訪問し、長期休業中の児童・生徒の行動についての実態把握及び指導・助言により、問題行動の減少といじめ防止等の取組について共通理解を図ることができた。

#### 学校訪問実施状況

訪問内容 / 実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
計画訪問		1校	8校	4校						
要請訪問		1校		1校		2校	2校	9校		
生徒指導訪問	13校			13校	13校				13校	13校

【事業費】 事業費総額 100千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	平川市学校教育指導の方針と重点を確実に伝達するとともに、校内研修が一層充実するよう、具体的かつ適切に指導・助言を行った。学習指導要領改訂に伴う移行期間であることを踏まえて、教育課程の管理や移行措置についての確認、授業改善等について指導・助言を継続していく必要がある。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 11

事務事業名	いじめ防止対策	担当課	指導課
-------	---------	-----	-----

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	市、学校、家庭、地域住民、その他関係機関と連携し、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b></p> <p>平成25年 9月 いじめ防止対策推進法施行</p> <p>平成29年 5月 平川市いじめ問題対策連絡協議会開催</p> <p>平成29年 5月 平川市いじめ防止対策審議会の開催</p> <p>平成29年 8月 平川市いじめ防止基本方針改定に向けた研修開催①</p> <p>平成29年12月 平川市いじめ防止基本方針改定に向けた研修開催②</p> <p>平成30年 2月 平川市いじめ防止基本方針改定に向けた研修開催③</p> <p>平成30年 3月 平川市いじめ防止基本方針改定</p> <p>平成30年 3月 平川市いじめ防止基本方針対応マニュアル改定</p> <p>平成30年 3月 学校いじめ防止基本方針改定モデル提示</p> <p>平成30年 3月 学校いじめ防止基本方針対応マニュアル提示</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>国が平成29年3月に「いじめの防止等のための基本的な方針」を改定し、これを受けて県教育委員会では平成29年10月に「青森県いじめ防止基本方針」を改定した。本市においても、いじめ防止等の対策を一層推進するため、平成30年3月に「平川市いじめ防止基本方針」を改定した。また、市内全小・中学校に「学校いじめ防止基本方針」の改定モデル及び対応マニュアルを提示し、いじめ防止対策の取組の充実に寄与できた。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 28千円（うち国・県補助 0千円）</p>
---

## 3. 評価

<b>B</b>	平川市いじめ防止基本方針及び平川市いじめ防止基本方針対応マニュアルの改定に際し、各校に対して研修会を複数回開催して、新年度に向けたいじめの防止等の体制整備を進めることができた。さらに、関係機関と連携を強化し、効果的かつ組織的ないじめ防止対策の充実に寄与できた。
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 12

事務事業名	放課後子ども教室	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成29年度	
事業の目的	放課後の子どもたちの安全安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに体験活動や地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b>          教育活動推進員や教育活動サポーター（地域のボランティア団体）に運営を依頼し、「読み聞かせ」、「ものづくり」、「レクリエーション」、「スポーツ（新体操）」教室などを実施し計画的に活動拠点（居場所）を確保している。</p> <p>①わくわくひらかわ教室（市内全域） 年10回（あみまつハウス）          ②わくわく新体操教室（碓ヶ関地区） 年40回程度（碓ヶ関RGC）          ③わくわく遊び体験教室（放課後児童クラブと連携） 年1回（あみまつハウス、かしわっこクラブ）</p> <p><b>【実績】</b>          「わくわくひらかわ教室」を文化センターと生涯学習センター、「わくわく新体操教室」を碓ヶ関小学校、「わくわく遊び体験教室」を柏木小学校で実施した。</p> <p>①わくわくひらかわ教室 開催回数 10回 対象者 29名          ②わくわく新体操教室 開催回数 55回 対象者 5名          ③わくわく遊び体験教室 開催回数 1回 対象者 7名</p> <p>※わくわくひらかわ教室について、定員を30名として募集したところ43名（平賀37名、尾上6名、碓ヶ関0名）の応募があったため、抽選により30名に絞った。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 293千円（うち国・県補助 189千円）</p>
--

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>地域の大人の方々や他校の子どもたちと交流できる重要な場となっている。</p> <p>教室を重ねるごとに意欲的な発言が見られるなど、子どもたちの活動が活発になっているほか、大人との関わりも自然にできるようになっている。</p> <p>「わくわくひらかわ教室」については、文化センターが改修工事のため、主な活動場所を生涯学習センターとして募集したが、依然として申込者の大半が平賀地区からであり、市内全域からの参加者確保の工夫が必要である。</p> <p>また、希望する子どもたちをできるだけ多く参加させたいことから、安全を確保できる範囲で定員の拡大を図りたい。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 13

事務事業名	軽スポーツ巡回教室	担当課	保健体育課
-------	-----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	生涯にわたるスポーツライフの推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	市民スポーツ推進のため、市民の要望に応じ平川市スポーツ推進委員を派遣し軽スポーツの指導及び普及を図る。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

市民の要望に応じた出前教室を27名のスポーツ推進委員で実施する。

- ① 広報、ホームページによる事業の周知
- ② 軽スポーツを希望する団体からの申請受付
- ③ スポーツ推進委員の調整
- ④ スポーツ推進委員の派遣
- ⑤ 実績報告・謝金支払

### 【実績】

① 教室の回数：18件

内 容	件数	人数	備 考
体操教室	10件	279人	保育園及び婦人会
スキー教室	3件	39人	保育園
親子レク	2件	72人	小学校
スポーツイベント等支援	3件	382人	・子どもフェスティバル ・雪と子ども達 ・日沼町会 世代交流ニュースポーツ大会
計	18件	772人	

② 派遣人数：45名

【事業費】 事業費総額 110千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	平川市スポーツ推進委員が講師として、市民の要望に応じた出前教室を行うことで、市民へのスポーツの普及がさらに広がり、市民のスポーツ意識と健康寿命の向上につながっている。今後は、年齢別のプログラムを充実させ、どの世代も活用できるよう広く周知をする。
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 14

事務事業名	平川市スポーツ派遣	担当課	保健体育課
-------	-----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	生涯にわたるスポーツライフの推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	市内小・中学生及びスポーツ団体等が、東北・全国大会等へ出場する経費の一部を助成する。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

東北大会及び全国大会へ参加する個人または団体に対し、大会出場経費の一部を助成する。

- ①東北や全国大会の出場権を得た個人または団体から、申請を受ける。
- ②保健体育課で精査した後、企画財政課に提出し交付決定される。
- ③申請者より請求を受け、補助金を申請者に交付する。
- ④大会終了後、申請者より実績報告を受け補助金を精算する。

### 【実績】

#### ①補助金交付件数 30件

申請種目	申請件数	申請人数	支給額
テニス	13件	53名	570,000円
野球	3件	18名	220,000円
新体操	2件	10名	65,000円
卓球	2件	2名	40,000円
剣道	2件	2名	20,000円
一輪車	2件	15名	150,000円
空手	2件	21名	210,000円
バドミントン	1件	1名	10,000円
サッカー	1件	16名	160,000円
ソフトボール	1件	9名	180,000円
水泳	1件	1名	10,000円
計	30件	148名	1,635,000円

- ②補助額 東北（秋田・岩手） 5,000円  
 北海道、南東北、関東、甲信、北陸、東海 10,000円  
 近畿、中国、四国、九州 20,000円

【事業費】 事業費総額 1,635千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>全国大会等出場に要する経費の一部助成により、自己負担が軽減され大会に出場しやすい環境を提供し、選手の大舞台での活躍に寄与できた。</p> <p>また、多くのスポーツ団体の活躍が増えており、新規の競技団体からの申請も年々増えてきていることから、事業費を増額した。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 15

事務事業名	トップアスリート	担当課	保健体育課
-------	----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	生涯にわたるスポーツライフの推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	平成29年度にオープンした陸上競技場を活用し、市内小中学校の児童・生徒を対象に世界レベルのトップアスリートを招き、子どもたちの各種競技のスキルアップを図るため陸上教室などを開催する。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b> 平成29年度は新設された平川市陸上競技場において、トップアスリートによる陸上教室を開催する。</p> <p>①年度当初に、今年度行う競技種目を選定する。 ②マネージメント会社と契約し、選定した競技種目のアスリート（講師）を斡旋してもらう。 ③夏場にトップアスリートによる教室を実施する。 ④来年度のアスリートの検討</p> <p><b>【実績】</b> 世界陸上400mハードル銅メダリスト「為末大」氏を講師に招き、長谷川体育施設陸上部の運営補助のもと、子どもたちへ直接指導を行った。</p> <p>（開催内容） 日 時 : 平成29年7月23日 場 所 : 平川市陸上競技場 参加者 : 209名（児童・生徒）</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 2,722千円（うち国・県補助 1,000千円）</p>
--

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>トップアスリートである為末大氏から直接指導を受けることにより、子どもたちのスポーツに対する意識が向上し、競技レベルアップにつながった。</p> <p>今後は、講師の選考や参加者の拡大を図りながら、各種目のトップアスリートを招き、子どもたちのスポーツに対する意識と競技技術レベルアップを図るため、継続的に事業を実施する必要がある。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 16

事務事業名	平川市スポーツデー	担当課	保健体育課
-------	-----------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	生涯にわたるスポーツライフの推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	生涯にわたって心身とも明るく健康な生活を送ることができるよう、市民が気軽にスポーツに親しむ場として、「平川市スポーツデー」を開催する。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

平川市陸上競技場において、市民参加のスポーツイベントを開催する。

- ①実施メニューの検討及び決定
- ②市民及び各団体への広報・ホームページ・チラシなどによる参加の周知
- ③アトラクション参加団体及びボランティア団体への協力依頼
- ④参加者の取りまとめ
- ⑤スポーツデーの実施  
(陸上競技場において8種目。スタッフは体育協会、スポーツ推進委員。)
- ⑥振り返り

### 【実績】

(開催内容)

日 時 : 平成29年10月1日  
場 所 : 平川市陸上競技場  
参加者 : 676名

種 目	参加者	種 目	参加者
幼児競争 with T	91名	大縄跳び	72名
サッカードリブルリレー	90名	フライングディスクアキュラシー	20名
ボール転がしリレー	48名	スウェーデンリレー	50名
玉入れ	60名	アトラクションほか	245名
		参加者合計	676名

【事業費】 事業費総額 686千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	市民スポーツイベントとして開催したが、市民への周知が十分に図られなかった。今後は、各団体に参加してもらうよう依頼し、各団体発信による本イベントの認知度アップが必要となる。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 17

事務事業名	<b>B&amp;G 尾上体育館改修工事</b>	担当課	平川市運動施設
-------	--------------------------	-----	---------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	生涯にわたるスポーツライフの推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	B&G 尾上体育館改修工事を行うことにより、施設の延命化が図られるとともに、利用環境が快適となり、利用者が増加し、地域スポーツの拠点として市が目指す「スポーツで元気なまち」へとつながる。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b> 昭和57年に竣工したB&amp;G尾上体育館（昭和60年無償譲渡）は、経年劣化により老朽化が著しく修繕が必要な状況なため、公益社団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団が毎年評価している評価が「特A」※のため修繕助成申請が可能となり、採択後に大規模改修を行う。</p> <p>※特A … B&amp;G財団でB&amp;Gプランを推進する全国すべての海洋センターに対し評価をしている。</p> <p><b>【実績】</b> 公益社団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団より修繕助成が採択され、改修工事（42,876千円）を行った。</p> <p>（主な改修内容） 屋根塗装・外壁塗装・アリーナ床研磨・アリーナ照明LED化・アリーナ暖房機取替・ 供用区域内装・出入口階段修繕</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 42,876千円 （うち国・県補助 0千円 その他：B&amp;G財団助成金 25,100千円）</p>
---

## 3. 評価

<b>A</b>	改修工事で施設補修及び照明・暖房機器が更新され、施設の延命化が図られた。また、利用環境が快適になり利用者の利便性・安全性の向上が図られた。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 18

事務事業名	未来の担い手発掘・育成・支援	担当課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	知識と経験があふれる生涯学習の推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	地域活動に参画意欲のある若い人材の発掘・育成・支援を行うとともに、共に学び、実践を通しながらつながりを深め、将来の地域を担う人材の育成を図る。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b> 2年目の29年度は「育成編」と位置付け、これまでの参加者をテーマ別にグループにわけ、具体的な活動の内容や手法について検討する。</p> <p>①メンバー（22人）によるグループワークの実施。 ②市内外の若者を集めたワークショップの実施。 ③県内先進地視察の実施。 ④活動報告紙の発行。</p> <p><b>【実績】</b> ①メンバーによるグループワーク 15回（延べ参加人数：75人） ※グループごとに、取り組みたい活動の内容や手法について協議した。 ②市内外の若者を集めたワークショップ 3回（延べ参加人数：102人） ※メンバーのほか関心のある市民等を対象に、取り組みたいテーマごとのグループ分け、活動状況報告、市内名所等めぐりのバスツアー企画のワークショップを行った。 ③県内先進地視察 2回（延べ参加人数：7人） ※1回目（10/29） 「NPO法人横町十文字まちそだて会」（黒石市） 2回目（11/25～26） 「はっち」「八戸市中心商店街まちぐみ」（八戸市）、「14・54」（十和田市） 「Misawaアートプロジェクト」（三沢市） ④活動報告紙「ひらかわ わ！わ！わ！」発行（発行部数：2,000枚） ※1年間の活動内容を報告紙として、市内毎戸のほか関係者に配布した。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 201千円（うち国・県補助 0千円）</p>
--

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>グループワークやワークショップではメンバーと市民等が交流し、熱心な意見交換により新たなネットワークが形成され、一定の成果が得られた。</p> <p>中には、メンバーが欠席する日も多くあり、意見の集約等が難しい状況にあることから、積極的な参加の呼びかけが必要である。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 19

事務事業名	平成の寺子屋	担当課	平賀公民館
-------	--------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	知識と経験があふれる生涯学習の推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	生涯にわたって自らが輝きつづけるために、講演や文化芸術活動への参加を通し、現代社会に対応できる教養を身につけ、学習によって得た知識等を積極的、かつ自主的に地域活動に活かせるひとづくり。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

20歳以上の市民を対象に、現代社会に対応する教養を身につけることができる内容の講座や移動学習等について情報収集し、合わせて年齢や男女別など市民ニーズに応えることができるものを選択し実施する。

各講座ごとに回覧版やホームページ等で周知し、講座終了後は、次回以降の参考とするためアンケートの協力を依頼する。

### 【実績】

講演3回、移動学習2回、体験教室4回、コンサート1回、計10回講座を開催したところ、延べ236人（男性86人、女性150人）の参加があった。

参加者からの感想は概ね良好であり講座の内容については満足してもらっている印象がある。

開催日	内 容	人数	開催日	内 容	人数
4/21	生きてて楽しい平川市	28	10/14	八甲田山雪中行軍115年目の真実	55
5/27	米ちゃんと春の野山をお散歩しよう	26	11/18	ちょきちょき切り絵入門講座	13
6/10	大石武学流庭園めぐり	23	12/16	弦楽四重奏バイオリンとおともだち	20
7/8	初級庭木剪定講座	17	2/24	魅惑のスコットランド料理教室	20
9/8	大人の塗り絵体験教室	18	3/17	お金に関する講座	16

【事業費】 事業費総額 171千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>多くの講座は受付直後に定員に達する状況である。講座終了後に実施しているアンケートの結果では講座内容についても概ね好評である。</p> <p>参加希望者からは対象人数を増やしてほしいとの要望があるものの、実技を伴う講座や移動学習では定員が少人数に制限され、今後の課題となっている。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 20

事務事業名	文化センター改修工事	担当課	文化ホール
-------	------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	知識と経験があふれる生涯学習の推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	開館から23年が経過する文化センターについて、危険部分・老朽部分等を改修し、安全性・快適性・利便性の向上を図るとともに、施設の長寿命化を図る。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

工事期間中は、利用者に不便をかけないように工事請負業者と協議のうえ、休館期間以外は各施設を利用できるように工事を進める。

#### ①休館期間

文化ホール・平賀公民館・郷土資料館：平成29年4月1日から平成29年12月28日まで  
平賀図書館：平成29年6月1日から平成29年10月1日まで

#### ②工事期間

：平成28年12月13日から平成29年12月28日まで

### 【実績】

工事概要として、外壁補修、屋上防水補修、ホール天井耐震補強、空調設備補修、照明LED化、舞台照明音響機器更新され、工事期間内に完成した。

#### 事業費内訳

項目	実績額
改修工事費	835,069千円
監理業務委託料	8,424千円
備品購入費	3,580千円
合計	847,073千円

【事業費】 事業費総額 847,073千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	施設全域で長期にわたる工事であったが、施工エリアを明確に区分し計画的に進めたこと、また、利用者への周知を徹底したことで工事期間中の一部利用も可能とし、トラブルもなく工期内に完了した。施設補修及び機器更新がされたことで、利用者の利便性、安全性、快適性の向上が図られた。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 21

事務事業名	定例おはなし会	担当課	平川市図書館
-------	---------	-----	--------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	知識と経験があふれる生涯学習の推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	読み聞かせをとおして、本への興味や読書習慣の醸成のほか、それを端緒として図書館利用の促進を図る。また、学区や年齢が異なる子どもたちの相互交流の場となるほか、思い出作りの一助とすることを目的とする。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b>          月例おはなし会と時節おはなし会は、その都度のテーマに即した内容とする。          実施方法としては、平川市読書推進運動協議会（おはなしこっこん）におはなしの読み聞かせを依頼し、テーマや内容については、同協議会と図書館間で打ち合わせのうえ決定し、その内容に即した本を選書するほか、会場の飾り付けも行い、雰囲気づくりにも工夫を凝らす。          周知方法としては、「広報ひらかわ」や市ホームページ、及び図書館内や市内こども園等へポスターの掲示、チラシの配布等を行う。</p> <p><b>【実績】</b>          ①月例おはなし会          開催数：平賀図書館 9回 尾上図書館 10回 延べ参加人数：115名          ②時節おはなし会          開催数：平賀図書館 4回 尾上図書館 2回 碓ヶ関公民館 3回 延べ参加人数：504名</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 155千円（うち国・県補助 0千円）</p>
--

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>おはなし会に参加した子どもたちの図書館利用が増加しており、本への興味・関心を持つきっかけとなっている。特に時節おはなし会は、それぞれの季節ごとに趣向を凝らしていることから、思い出作りの一助となっている。</p> <p>ただし、平賀図書館での月例おはなし会では参加者がいない月もあり、今後の周知方法や実施内容を工夫し取り組んでいく必要がある。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 22

事務事業名	平川の子どもたちが選ぶおすすめ本	担当課	平川市図書館
-------	------------------	-----	--------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	知識と経験があふれる生涯学習の推進
事業年度	平成29年度	
事業の目的	学校図書活動と平川市図書館が連携し、平川市内の小・中・高等学校に通う児童・生徒が自らの思考や感性に沿った本を推薦し、広く市民に紹介することで、市全体の読書環境の整備・充実を図ることを目的とする。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

新刊の発行状況や子どもたちの本に対する意識の変化等を考慮し、2年に1回の頻度で、市内全小・中・高等学校に協力依頼し、全児童・生徒を対象としたアンケート調査を直営で実施する。また、アンケート調査により推薦数の多い本10作品については図書館に展示し市民に紹介する。

- ①調査対象：小学校9校(1,398名)、中学校4校(795名)、高等学校2校(581名)
- ②調査内容：おすすめ本、図書館利用頻度、1日の読書時間、1月の読書量、ジャンル、読書意識等
- ③紹介方法：上位10作品の図書館特集展示、広報及びホームページでの紹介、学校へ集計結果配布

### 【実績】

- ①回答率：小学校98.6%、中学校92.9%、高等学校92.7%、平均回答率95.7%
- ②図書購入：122冊
- ③紹介内容：展示H30.1.4～H29年度末、広報12月号掲載、学校報告11月、ホームページ掲載12月
- ④事業効果：展示期間の1月～3月までの利用者が事業実施していない前年比で10.1%(390人)増
- ⑤推薦本順位

小学生				中学生・高校生		
1位	かいけつゾロリシリーズ	原 ゆたか	142票	君の隣をたべたい	住野 よる	37票
2位	ミキと杉山のあなたも名探偵シリーズ	杉山 亮	63票	ワードアート・オンラインシリーズ	河原 礫	30票
3位	ひみつシリーズ	学研	55票	火花	又吉 直樹	25票
4位	絶叫学級シリーズ	いしかわ えみ	46票	王様ゲームシリーズ	金沢 伸明	23票
5位	怪談レストランシリーズ	童心社	43票	君の名は	新海 誠	22票
6位	日本の歴史	学研	38票	からだ探しシリーズ	ウエルグート	20票
7位	絶望鬼ごっこシリーズ	針 とら	33票	ひるなかの流星	ひづき 優	18票
8位	ほねほねザウルス	ぐるーぶアソシイ	26票	リバーズ	湊 かなえ	17票
9位	わかったさんシリーズ	寺村 輝夫	25票	Re:ゼロから始まる異世界生活シリーズ	長尾 達平	16票
10位	ヒックとドラゴン	クレジッタ・コウエル	23票	物語シリーズ	西尾 維新	15票

【事業費】 事業費総額 98千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>A</b>	アンケートの回収率が非常に高く、読書環境等について市内のほとんどの児童・生徒からの声が直接聞ける内容であり、図書資料の購入方針や図書館運営並びに読書環境の整備に大きな役割を果たした。
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 23

事務事業名	公共ホール音楽活性化	担当課	文化ホール
-------	------------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	感性をはぐくむ芸術文化の振興
事業年度	平成29年度	
事業の目的	一般財団法人地域創造の事業である「公共ホール音楽活性化事業」を活用し、現在活躍しているクラシック音楽演奏家を招いて、学校等へ訪問し演奏や交流をするアウトリーチ及びホールでのコンサートを行うことにより音楽を身近なものとし、感受性や創造性を高める。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b> 平成29年度は、文化センター改修工事によりホールコンサートができないため、助成事業の要件を満すことができず、市単独費でアウトリーチのみを実施する。 クラシック音楽演奏家については、助成対象とはならないが、一般財団法人地域創造に相談し紹介を受け実施した。また、アウトリーチ先については、市内小・中学校へ文書により募集し、応募多数の場合は学年、人数、前年度実施等により4校を選出。</p> <p><b>【実績】</b> 10月5日、6日に市内小・中学校4校において、アウトリーチを実施した。ピアノの仕組みの説明や体験、曲を弾いてイメージを想像させるなどの交流を行った。</p> <p>演奏家 : 新居由佳梨氏（ピアニスト） アウトリーチ先 : 10月5日 ①猿賀小学校 4年生 25名 ②柏木小学校 6年生 17名 10月6日 ③碓ヶ関中学校1～3年生 43名 ④大坊小学校1～4年生 37名</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 377千円（うち国・県補助 0千円）</p>
--

## 3. 評価

<b>A</b>	<p>実施した学校では、児童・生徒、教員ともに好評である。プロのアーティストの演奏を間近で聴き、また、触れ合うことで子どもたちに驚きや感動を与え、非常に良い刺激となっている。</p> <p>助成対象は4箇所であるが、学校以外も視野に事業拡大に努めたい。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業 No. 24

事務事業名	文化財保護	担当課	生涯学習課
-------	-------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	感性をはぐくむ芸術文化の振興
事業年度	平成29年度	
事業の目的	文化財保護法、平川市文化財保護条例に基づき、各種指定文化財を保護、保存し、補助支援や周知を図る。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p><b>【実施方法】</b></p> <p>①所有者が実施する指定文化財の保存整備事業等に対し補助支援を行う。          ②埋蔵文化財包蔵地（遺跡）での開発調整を行い保護に努める。          ③文化財パトロールや火災防ぎょ訓練等を行い、文化財保護の意識向上を図る。          ④無形民俗文化財保存団体に対する補助支援や各種催事への出演斡旋に努める。          ⑤文化財標柱・説明板を更新し周知に努める。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>所有者が実施する「国名勝盛美園保存整備事業（国庫補助）」、「国名勝盛美園保存管理計画書作成事業（国庫補助）」及び無形文化財保存団体（市補助）へ支援したほか、文化財標柱の更新、文化財火災防ぎょ訓練、文化財パトロール、埋蔵文化財開発調整（試掘調査）等を行った。          また、平川市文化センターリニューアルオープン記念事業として「ひらかわ伝統芸能フェスティバル」を実施した。</p> <p><b>【事業費】</b> 事業費総額 2,240千円（うち国・県補助 0千円）</p>
---

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>指定文化財や無形民俗文化財保存団体への補助支援を行ったが、さらなる文化財保護に資するための効果的な事業の推進が望まれる。</p> <p>伝統芸能の発表会を行い市内伝統芸能の周知につながったが、今後はより一層文化財保護の意識向上を図るため、定期的な開催ができるよう努めたい。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業 No. 25

事務事業名	郷土資料館	担当課	郷土資料館
-------	-------	-----	-------

## 1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	感性はぐくむ芸術文化の振興
事業年度	平成29年度	
事業の目的	平川市郷土資料館条例に基づき、郷土の歴史、民俗、芸術、産業及び自然に関する調査、教育、研究、資料の収集、保管及び展示に関する事業を行う。	

## 2. 実施方法・実績（具体的に記載）

### 【実施方法】

- ①資料の適切な保管と展示を行う。
- ②展示会などの普及啓発事業を行い、郷土に関する学習の機会を提供する。
- ③収蔵資料の貸出や講師を派遣することで学校教育の支援を行う。

### 【実績】

種 別	事 業 名	開催場所	観覧・参加人数
展 示 会	アメリカメーン州・青森県交流版画作品展	生涯学習センター	152名観覧
	開業90周年弘南鉄道写真パネル展	弘南鉄道平賀駅構内	約400人観覧
	岩渕金満日本画展～津軽の自然～	文化センター	未集計
移動学習	大石武学流庭園めぐり	弘前市・黒石市・平川市	23名参加
体験学習	化石レプリカをつくろう	生涯学習センター	20名参加
学校支援	収蔵資料貸出・講師派遣	小和森小3年、猿賀小3年	66名参加

【事業費】 事業費総額 80千円（うち国・県補助 0千円）

## 3. 評価

<b>B</b>	<p>郷土の歴史や文化財や芸術などについて見識を深める機会を提供できた。引き続き各世代を対象とし、新たな企画で充実を図る必要がある。</p> <p>29年度は会場を生涯学習センターや弘南鉄道平賀駅構内でも実施したところ、概ね好評であったことから今後の会場についてはテーマに合った施設での実施に努めたい。また、小中学校を対象に収蔵資料貸出や講師派遣をする学校教育支援の充実にも努めたい。</p>
----------	--